実際に教えるための

参加費

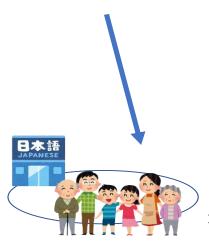
地域の外国人が外国人に日本語を教える! 企業で働きやすく、そして地域社会とのつながりをサポート!



会社や工場などで教えます

- ・仕事の日本語
- •生活の日本語













地域で教えます 日本語・生活サポート教室

地域に住む外国人に次のようなサポートをする外国人の日本語キーパーソンを養成する講座です
★ 日本語を教えます
★ 日本社会に入っていきやすいように、地域のコミュニティと外国人のつながり作りをサポート

日時: 2022年6月26日(日) ~ 11月20日(日) 2週間に1回おこないます 全11回 詳細は裏面を参照ください。

コース: 基礎コース(第1回〜第7回、第10回〜第11回)と 応用コース(第7回〜第11回)があります。 応用コースの第8回と第9回は、昨年度の講座修了者が対象ですが、基礎コースの希望する人も参加できます。

日本語講師: 正田江利子(日本語教師、日本語教育能力検定合格、多文化共生推進士)

参加対象: ポルトガル語、ベトナム語、中国語、タガログ語、スペイン語などを母語とし、

日本語ができる外国人(日本語能力試験N2程度以上、またはこの案内を読めて理解できればOKです)

定員: 15名

場所: 伊勢崎市絣の郷(伊勢崎市昭和町1712-2)など 詳細は裏面を参照ください

問い合わせ・申し込み先: 申し込み締め切りは、6月22日(水)です。

定員になり次第 締め切りとさせていただきます。

お名前、住所、電話番号、メールアドレス、職業もしくは所属、母語、国籍を添え、お申し込み下さい

Email: jp.ed.gcommunity@gmail.com 電話: 070-5021-9103(本堂)



主催:群馬県 委託先実施団体: NPO法人 Gコミュニティ 文化庁 令和4年度 地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業 活用



スケジュールと講義内容

(内容を変更することがあります)

時間: 第1回~第9回は 13:30~17:30、第10回~第11回は 14:00~16:00

第1回 6月26日(日)

伊勢崎市民プラザ 第3実習室+第4実習室

*講師:三石哲也

(行政書士 三石事務所)

・群馬県における在住外国人および外国人材の受入れの現状と課題*

在留資格について*

・外国人日本語キーパーソンの意義、役割、心構え

・「やさしい日本語」の活用 ・ZOOMの使い方

【活動】 聴き方、伝え方

第2回 7月10日(日) • 「日本語指導者」としての心構え 伊勢崎市民プラザ

世界の言語から見た日本語の特徴

・日本語教育・指導で使われる重要な用語

【活動】 ビジネスチャットツール スラックの使い方

伊勢崎市民プラザ 第2研修室

第3実習室

第3回 7月24日(日)・指導計画に必要な知識と準備

・授業の組み立て方①(導入・説明)

・補助教材を知る①

・ 著作権について

【活動】「導入・説明」を実際にやってみる

第4回 8月7日(日)

伊勢崎市絣の郷

市民交流館 セミナー室

授業の組み立て方②(様々な練習)

補助教材を知る②

有効な練習の組み合わせを考える 【活動】ドリルのやり方を体験する

第5回 8月21日(日)

伊勢崎市絣の郷

市民交流館 第6会議室

・日本語能力試験対策のしかた

技能別の指導のしかた

・レベルチェックのしかた 【活動】プチ模擬授業

第6回 9月4日(日)

伊勢崎市民プラザ

第3実習室+第4実習室

・大人と子どもへの日本語支援の違い

・就労者への日本語支援について

・評価と報告書の扱いについて ・教室運営やコース設定に係る知識 【活動】プチ模擬授業

第7回 9月18日(日)

伊勢崎市民プラザ

第3実習室+第4実習室

・社会制度、社会生活について

デジタル社会と用語について

・会社の経営者からみた実態・要望

外国人日本語ボランティアの体験について •質疑応答

第8回 10月2日(日)

伊勢崎市民プラザ 第3実習室+第4実習室 ・企業の「業種」による日本語支援の違い

•「製造業」で働く学習者への支援・「サービス業」で働く学習者への支援 【活動】グループで割り当てられた業務遂行に必要不可欠な日本語の教材を考案する

第9回 10月16日(日)

伊勢崎市民プラザ 第1研修室

・教材研究: 学習者に必要な教材の選び方

•ICT教材の活用 オンライン授業の始めかた

・模擬授業に向けて

第10回 11月6日(日)

•模擬授業①(14:00~16:00)

11月20日(日)・模擬授業②(14:00~16:00) 第11回





マスクを してください





体温をはかって きてください